

本市のデータ

(1)面積 692.80km²

(2)人口 (人)

H17年	H22年	H27年	H31.3.31(住基)
103,652	98,367	92,197	89,646
65歳以上人口比率(H27年)			35.2%

(3)世帯数

H17年	H22年	H27年	H31.3.31(住基)
31,610	31,807	31,463	34,183

(4)沿革

H17.10.1 合体
横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村

(5)産業構造

区分	就業人口 H22年国調	就業人口 H27年国調
1次	7,938人 16.8%	7,559人 16.2%
2次	12,282人 25.9%	11,587人 24.9%
3次	27,145人 57.3%	27,398人 58.9%
計	47,396人	46,718人

本市の概要

横手市は秋田県の内陸南部に位置し、横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村の8市町村が平成17年10月1日に合併、新たに人口10万4千人の秋田県第2の都市として誕生しました。

東の奥羽山脈、西の出羽丘陵に囲まれた横手盆地の中央に位置し、東西45.4km、南北35.2kmに広がっています。奥羽山脈に源に発する成瀬川、皆瀬川が合流した雄物川および横手川が貫流し、中央部には肥沃な水田地帯が形成されています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

健康よこて21計画で取組の重点分野の1つに「心の健康・自殺予防」を掲げ、「一人ひとりの気づきと見守りで、大切ないのちを未来につなげましょう」を目標とし地域自殺対策強化交付金を活用し様々な事業を展開してきた。

平成30年度に横手市自殺予防対策計画を策定、「個人のいのちの尊さを認識し、自らのいのちを失う人がいなくなるよう、明るく過ごせる地域づくりと『誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現』」の為更なる自殺予防の推進を図る取組を実施している。

<具体的な取組み>

【支援・相談】

- 心の健康づくり無料法律相談(H24年度開始～継続)** 月1回4人に対して弁護士が実施。
H30年度実績:利用者数 44人 (累計) 214人
- 高齢者うつ訪問(H23年度開始～継続)** 地域包括支援センターと連携し、生活機能チェックリストの結果から対象となる高齢者に看護職が家庭訪問し、状況を把握し状況に応じて対応する。
H30年度実績:対象者数 454人/訪問者数 469人(延)
(累計)対象者数 3,981人/訪問者数 3,212人(延)
- 若者支援(H19年度開始～継続)** 対人関係に強い不安をもつ若者たちの居場所としてグループミーティング(月2回)を実施。
H30年度実績:参加者数 43人(延) (累計) 1,058人(延)

【人材育成】

- メンタルヘルスサポーター養成講座(H24年度開始～継続)** 精神科医・臨床心理士・大学准教授等による4回コースの講座。3/4回以上の出席者を修了者とみなす。
H30年度実績:修了者数 25人 (累計) 304人
- メンタルヘルスサポーターフォローアップ研修(H25年度開始～継続)** 前年度のメンタルヘルスサポーター養成講座修了者の3回コースのフォローアップ研修。
H30年度実績:参加者数 41人 (累計) 353人
- 心はればれゲートキーパー養成講座(H29年度開始～継続)**
H30年度実績:受講者数 137人 (累計) 183人
- サロン支援(H26年度開始～継続)** サポーターによるサロン3カ所の運営支援を実施。現在市内3カ所でサロン活動がされている。

【普及啓発】

- 心の健康づくり健康教育** 適時に地域に出向き自殺予防・心の健康づくり健康教育を実施。
H30年度実績 37回/519人
- 性＝生教育出前講座** 保育園児から高校生までを対象に、いのちを大切に、お互いの「性」を尊重し生きる力を学んでもらう講座を実施。
H30年度実績 保育園25回/408人 小学校1回/61人
- 啓発用ポケットティッシュの配布** 啓発用ポケットティッシュ5,000個を保健事業開催時に配布。

【その他】

- 横手市自殺対策庁内連絡会議** 自殺対策基本法の理念に基づき、総合的・効果的な自殺対策の協議、推進する会議の開催。
H30年度1回開催